

国際交流サロン

12月は「オリンピックの発祥地探し」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

モノ/コト	古代オリンピック
発祥地	古代ギリシャのエーリス領地内のオリュンピア
いつごろ	紀元前776年
誰がはじめたか	エーリス王・イーピトス。記録に残る第1回のオリンピックの参加国は、エーリスとスパルタの2か国だけでした。エーリス王は「伝染病の蔓延(まんえん)を止めるには、争いをやめ競技会を復活させよ」というアポロン神の教えに従い、敵国のスパルタ王・リュクールゴスと「オリュンピアの地に武力を使って入ってはならない」との協定を結び、円盤投げで争いの勝負をつけました。第1回の円盤投げの勝者はエーリスのコロイボでした。この競技会は4年に一度のユリウス暦の8月に開催され、近代オリンピックのモデルとされました。

外国人書初め交流会のご案内

笠間市国際交流協会では、1月18日(土)に外国人書初め交流会を開催します。

習字を初めて体験する外国人の方には、日本人の協会員が指導します。日本語を勉強している外国人の方や、書道を通して国際交流をしたい方の参加もお待ちしています。参加費は無料です。参加申込は12月15日から受け付け開始。書道具と教材は協会準備します。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)



◀防災訓練の外国人参加者

1月の国際交流情報

外国人書初め交流会

日 時：平成26年1月18日(土)

午前10時～正午

会 場：友部公民館

参加対象：小学生以上の外国人・日本人の方(先着20名)

☆1月の日本語教室の開講日

1月11日(土)・25日(土)

(友部公民館 午前10時～)

市長コラム

笠間と赤穂義士

1702年(元禄15年)12月14日、赤穂浪士四十七士が両国本所松坂町の吉良上野介の屋敷に討ち入り、上野介を討ち果たし、主君 浅野内匠頭の本懐を遂げた日であります。ご存知でしょうか、四十七士の中に笠間藩出身者が3名いたことを。

吉田忠左衛門、小野寺十内、堀部弥兵衛です。

浅野家は赤穂藩主になる前、25年にわたり笠間藩主として笠間の



▲ 佐白山ろく公園の大石内蔵助像

地を治めていました。そして、赤穂に転封後も主君に忠義を尽くした義士3名が、笠間藩出身者であった史実を後世に伝えていかなければなりません。

毎年、全国の赤穂義士に関わる自治体に参加して「忠臣蔵サミット」を開催しています。参加自治体は、義士の忠義を重んじ、その精神をまちづくりや地域振興に役立てています。今年も、新潟県新発田市(堀部安兵衛の出身地)で11月に開催されました。新発田市は、安兵衛を歴史的英雄として顕彰し、さまざまな事業に関係づけ、観光振興に役立てています。

笠間市でも笠間義士会が、年に一度、討ち入りの日に「そば講」を開催し、義士を偲んでいます。忠臣蔵と笠間市のつながりを多くの方々に知っていただきたいと思えます。

皆さんも、12月14日には笠間藩出身の義士がいたことを、そして彼らの忠義を考えてみてください。

笠間市長
山口伸樹